

岩手県感染症週報

平成19年第14週（4月2日～4月8日）

岩手県感染症情報センター

第14週の概要

本年4月1日の感染症法改正により、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報の3ページの表では当面の間、改正前の分類による情報を届けしております。できるだけ早く新分類による情報を届けできるよう準備していますので、ご了承下さい。

1類感染症

4類感染症

2類感染症

5類感染症（全数把握対象疾患）

3類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

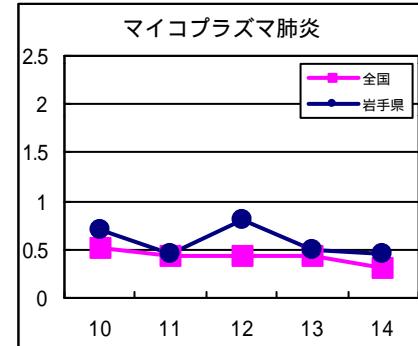
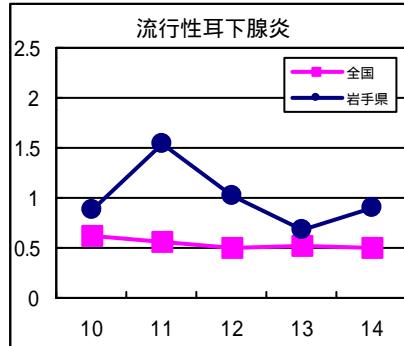
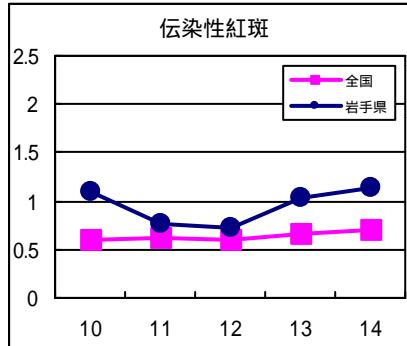
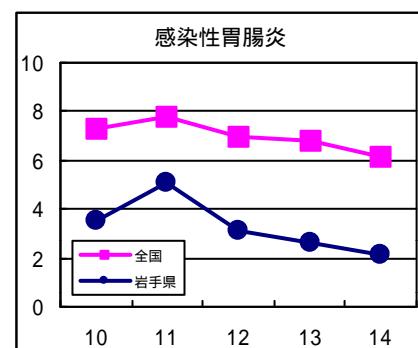
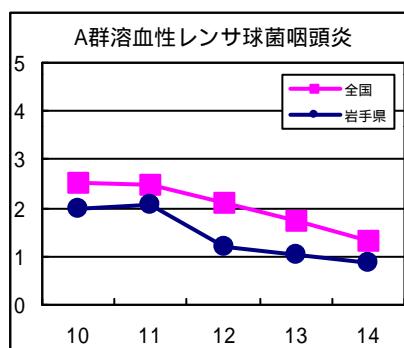
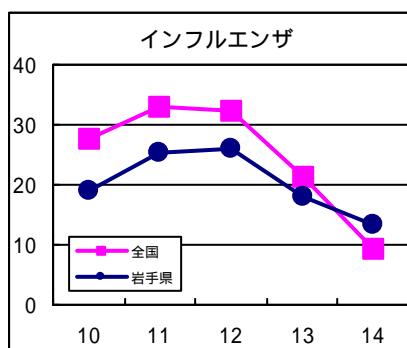
・患者の報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは前週に続き減少しました。この週に患者数が多かったのは北上（定点あたり患者数21人）、花巻（同20人）および久慈（同19.7人）地区でした。県環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、A香港型およびB型インフルエンザウイルスがこれまでに分離検出されています。学校や施設等の集団生活の場では、手洗いやうがい等の予防措置が引き続き重要です。
- ・伝染性紅斑は、北上及び釜石地区で引き続き警報値（同2人）を超えていましたほか、奥州地区でも警報値を超えました。
- ・水痘（みずぼうそう）の県内の患者報告数は、例年に比べこの時期の患者数が多くなっています。
- ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、一関地区で注意報値（同3人）を超えていました。
- ・麻疹（はしか）は、県内からの患者報告はありませんが、関東地域を中心に患者報告が昨年から継続しています。本疾患は感染力が非常に強く、夏季にかけて流行するので注意が必要です。予防にはワクチンが有効なので早めの接種が勧められます。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患(過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向
		10	11	12	13	14	
インフルエンザ	岩手県	18.98	25.19	26.16	18.03	13.25	↓
	全国	27.57	32.94	32.46	21.48	9.44	
RSウイルス感染症	岩手県	0.18	0.1	0.54	0.08	0.05	→
	全国	0.23	0.19	0.12	0.12	0.1	
咽頭結膜熱	岩手県	0.26	0.23	0.13	0.13	0.1	→
	全国	0.32	0.29	0.25	0.26	0.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.97	2.05	1.21	1.03	0.87	→
	全国	2.52	2.5	2.09	1.74	1.33	
感染性胃腸炎	岩手県	3.49	5.08	3.08	2.59	2.15	↓
	全国	7.29	7.77	6.94	6.8	6.12	
水痘	岩手県	1.62	2.33	2.13	2.21	1.74	↓
	全国	2.21	2.22	2.15	2.13	1.93	
手足口病	岩手県	0.36	0.15	0.28	0.08	0.03	→
	全国	0.28	0.29	0.22	0.19	0.16	
伝染性紅斑	岩手県	1.1	0.77	0.72	1.03	1.13	↑
	全国	0.59	0.63	0.59	0.66	0.71	
突発性発疹	岩手県	0.28	0.36	0.33	0.59	0.26	→
	全国	0.57	0.59	0.5	0.57	0.59	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.23	0.13	0.1	0.1	0.26	→
	全国	0.06	0.05	0.03	0.03	0.04	
麻疹(成人麻疹を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0.01	0.01	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.87	1.54	1.03	0.69	0.9	→
	全国	0.61	0.56	0.49	0.53	0.49	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.03	0.04	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.75	1	0.83	0.5	0.17	→
	全国	0.66	0.66	0.7	0.74	0.7	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.7	0.45	0.8	0.5	0.45	→
	全国	0.51	0.43	0.43	0.43	0.31	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.02	0.02	0.02	0.01	

【流行傾向の見方】

無印 : ほとんど患者が発生していません

: 患者が発生しています

: 警報値を超えた地区が1～2地区あります

: 多くの地区で警報値を超えてています

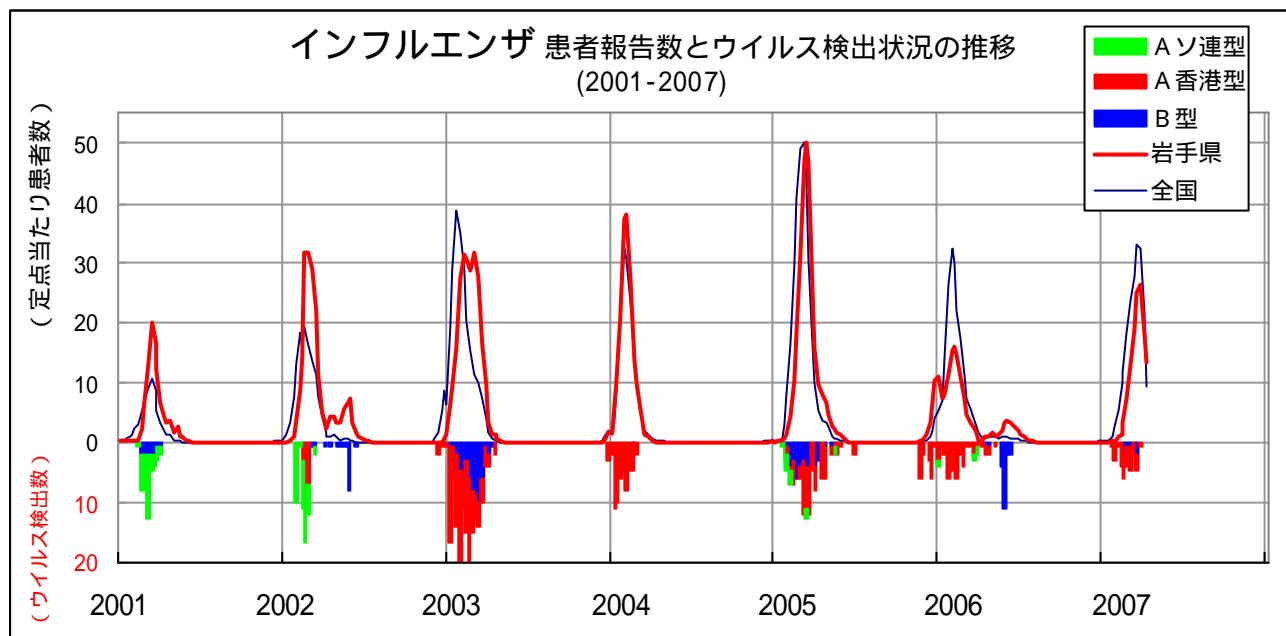
全数把握対象疾患(過去5週の動き)							(患者発生数)			
分類	疾病名	岩手県						全国		
		(週)	10	11	12	13	14	累計	14	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	6	132
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	9
三類	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	0	1	16	178	
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	16	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	41	
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	4
四類感染症	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	41	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	13	
	二パウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	2	9
五類感染症	野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	95	
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	9	187	
	ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	33	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	54	
	クリプトスピリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クロイトフェルツ・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	42	

今注目の感染症

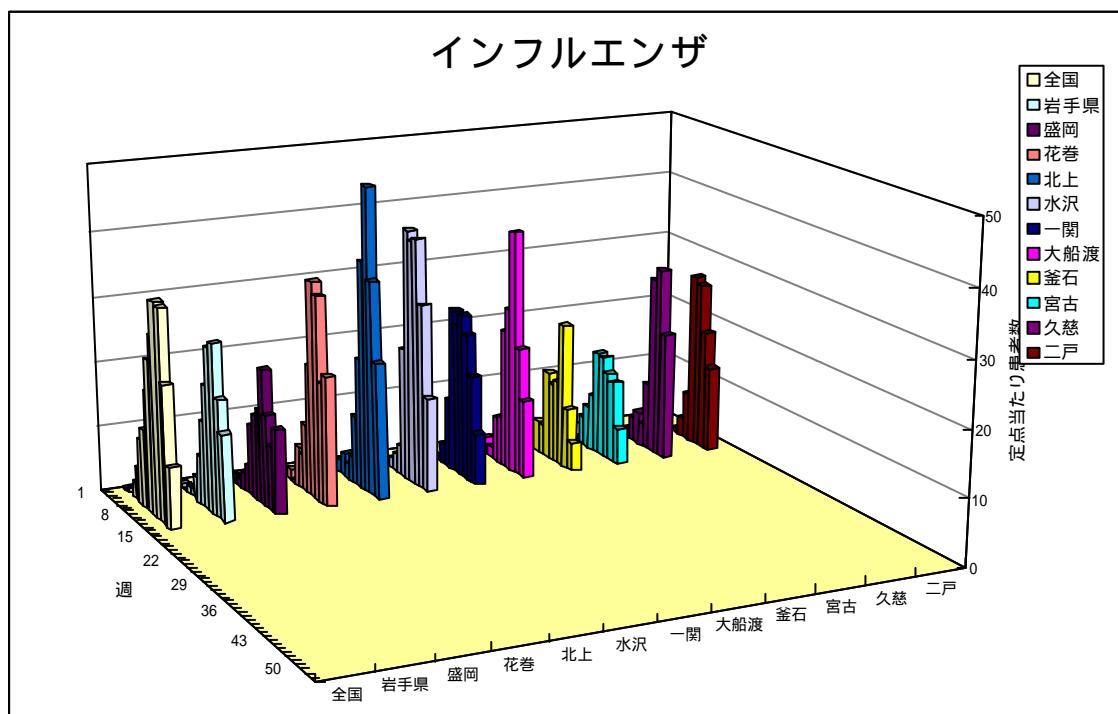
インフルエンザ

インフルエンザは、第12週（3月19日～25日）に、定点あたり患者数が26.2人となった後、2週連続で減少が続いている。環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、A香港型およびB型インフルエンザウイルスが分離検出されています。

予防には、帰宅時の手洗いやうがい、外出時のマスクの着用、適切な湿度の保持（50～60%）、充分な休養と栄養が重要です。また、インフルエンザにかかったと考えられる場合は、早めに医療機関を受診するとともに、咳やくしゃみをする際には、ハンカチやティッシュで口元を覆う、あるいはマスクを着用するなど、周囲への配慮が望まれます。



インフルエンザの定点あたり患者数、地区別



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを3例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖措置状況（4月11日まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
32	9	0	1	2	3	3	3	1	5	5

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

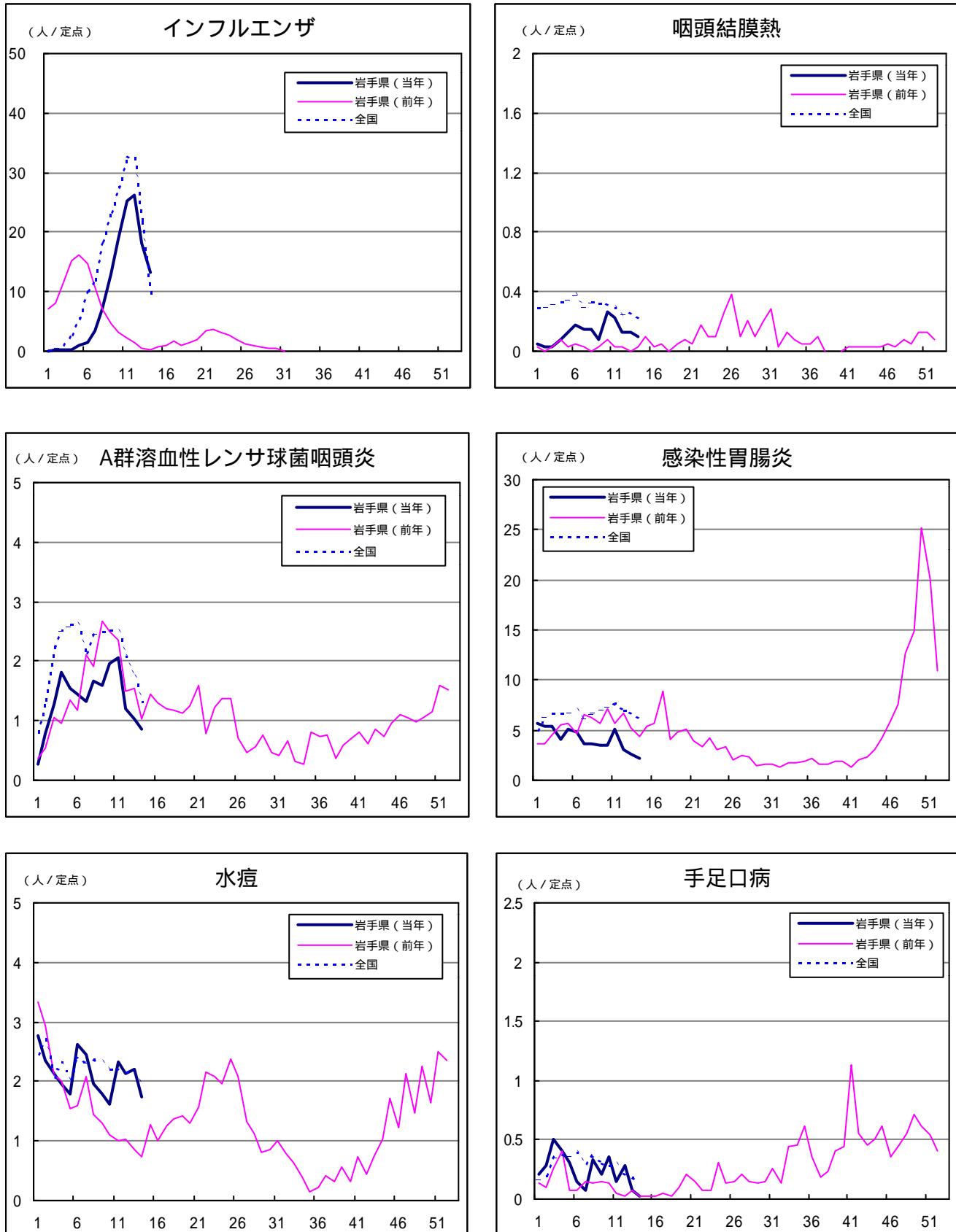
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

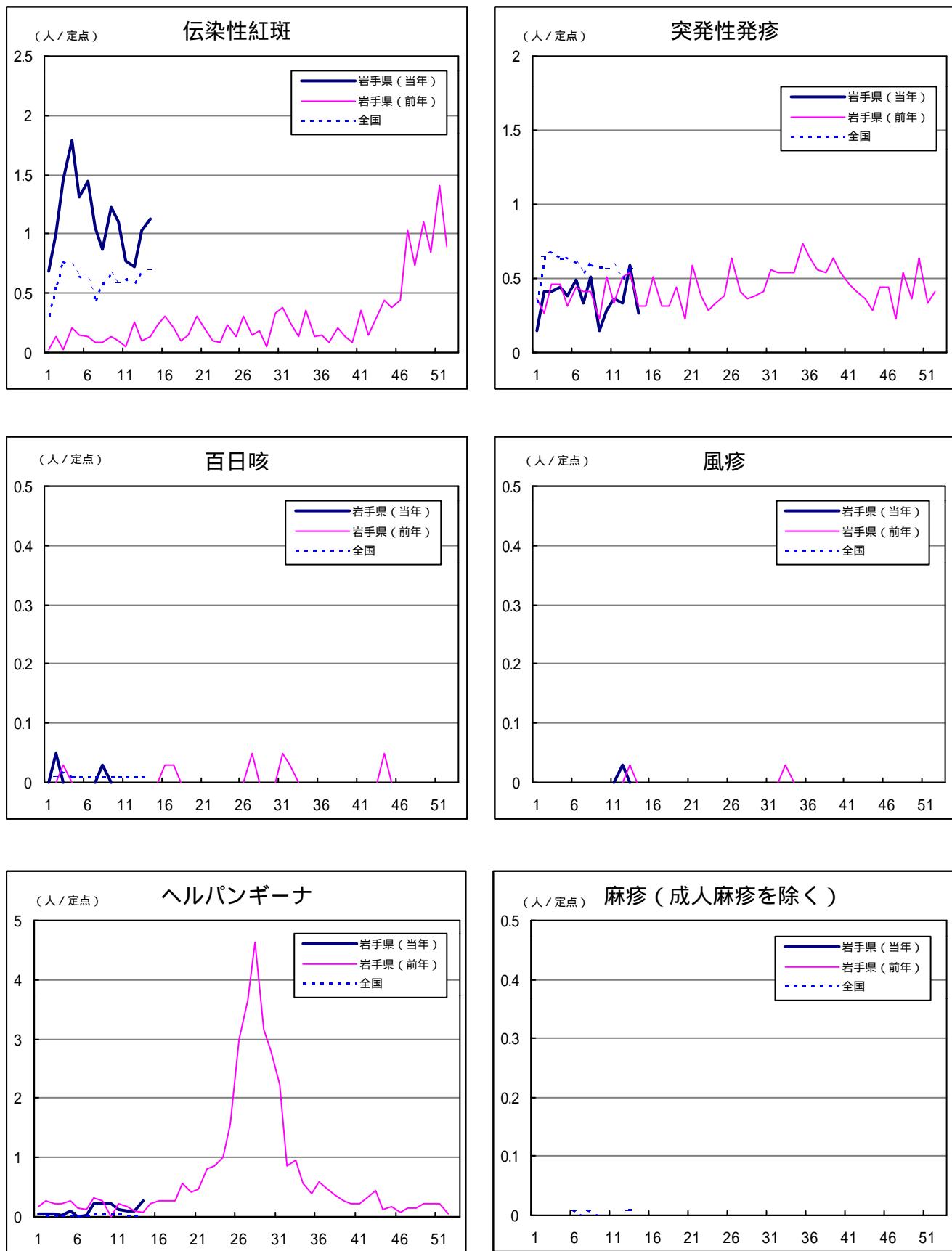
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

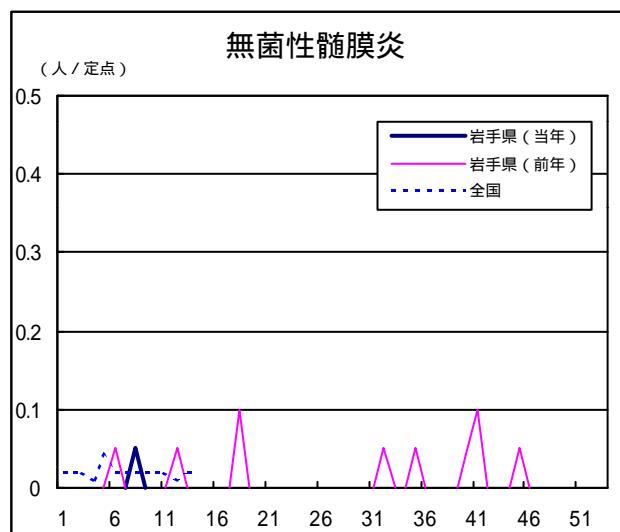
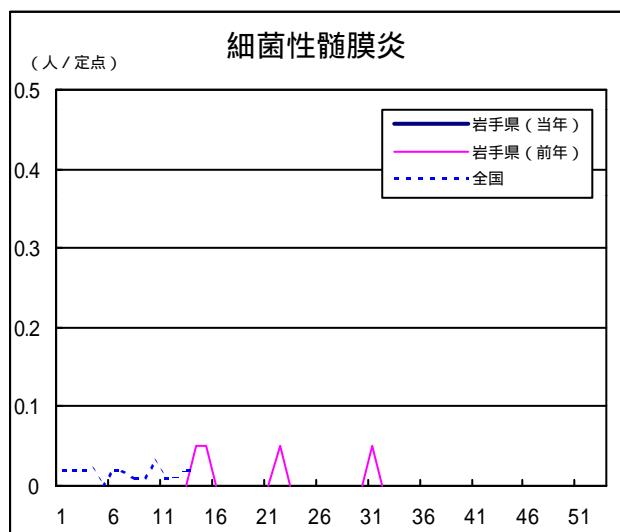
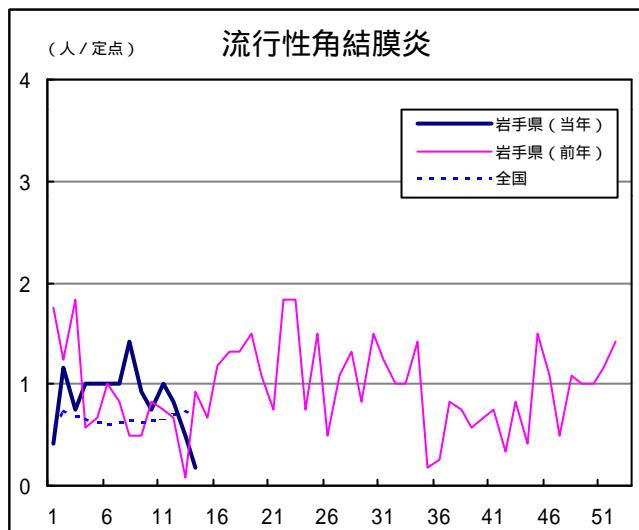
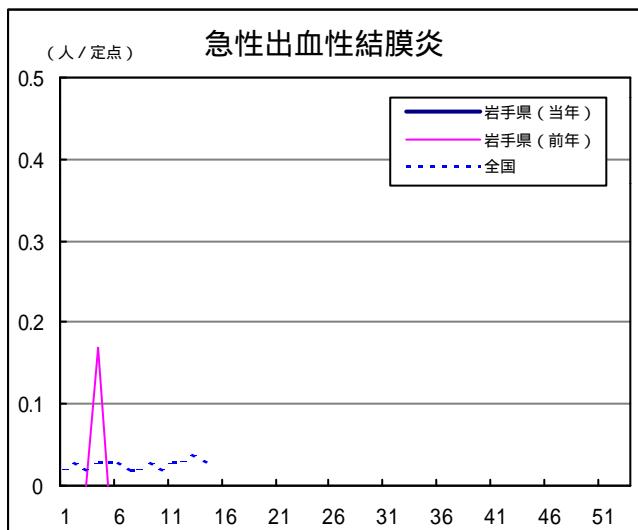
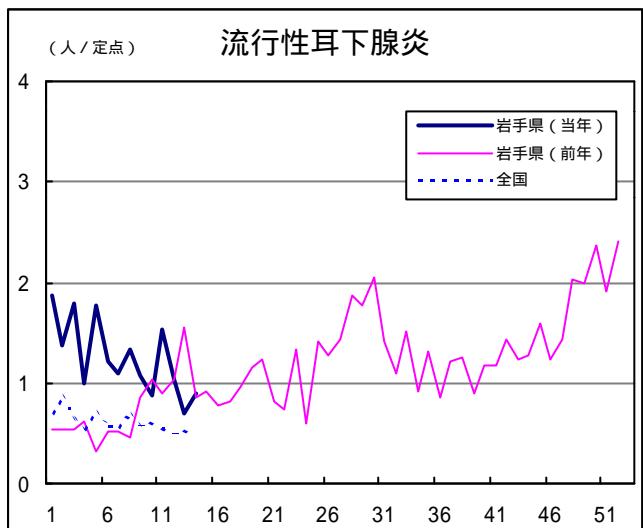
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

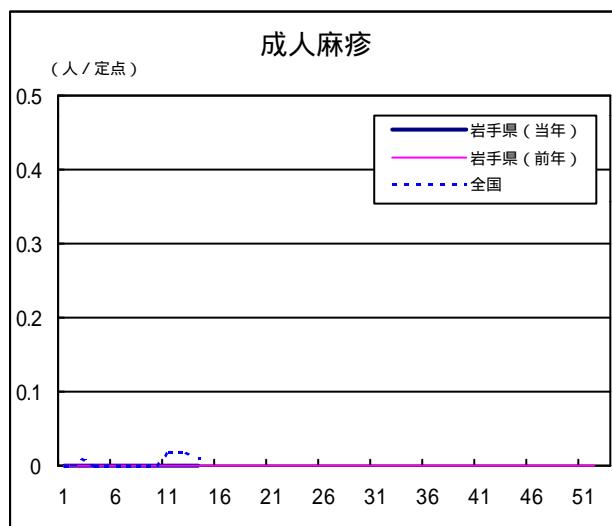
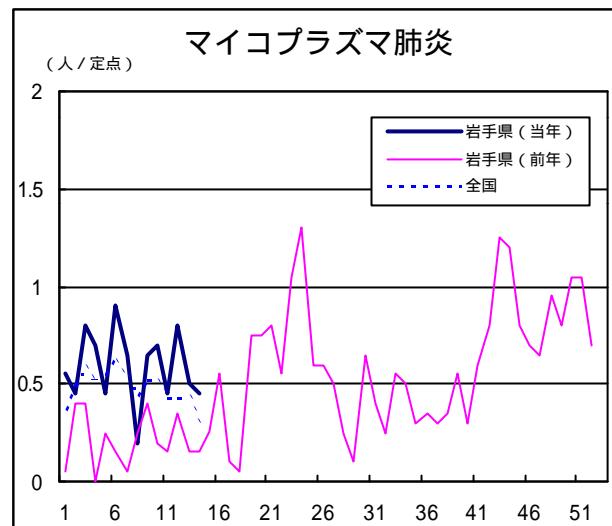
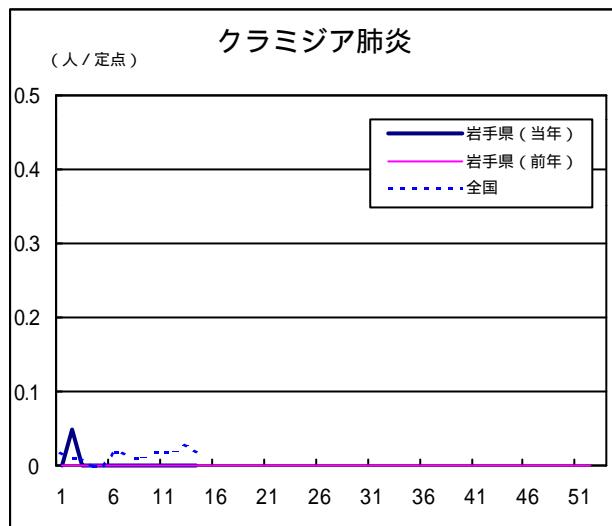
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別			
	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第14週 平成19年4月13日発行
 監修：岩手県感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>